

令和8年度第1回瑞浪市総合計画推進委員会 会議録（案）

1. 日時 令和8年8月27日（木） 13:30～:15:10
2. 場所 瑞浪市役所 2階大会議室
3. 出席者 景山 英明
林 淳
大宮 康一（会長）
松井 廉
谷 佳樹
堀尾 憲慈
佐伯 さほり（副会長）
安藤 友美
小木曾 みどり
[名簿順、敬称略]
4. 瑞浪市 水野 光二（瑞浪市長）
5. 事務局 加納 宏樹（みずなみ未来部長）
工藤 雄一（企画政策課長）
坂崎 慎一郎（企画政策課長補佐兼企画政策係長）
加藤 大明（企画政策課企画政策係）
6. 日程
 1. 委嘱式
 2. 委員紹介
 3. 会長・副会長選出
 4. 議事
 - （1）瑞浪市総合計画推進委員会の運営について
 - （2）瑞浪市総合計画推進委員会の進行管理、スケジュールについて
 - （3）2次評価について
 - （4）行政改革の取組について
 5. その他

1. 委嘱式

委嘱状を、委員を代表して景山瑞浪商工会議所専務理事に交付。市長挨拶。

2. 委員紹介【資料1】

名簿確認および各自あいさつ。事務局紹介。

3. 会長・副会長選出【資料2】

互選により、会長を大宮康一氏、副会長を佐伯さほり氏にて決定。

4. 議事

(1) 瑞浪市総合計画推進委員会の運営について【資料3-1】【資料3-2】

＜意見、質問等なし＞

→原案のとおり進める。

(2) 瑞浪市総合計画推進委員会の進行管理、スケジュールについて【資料4-1】【資料4-2】

(委 員) 今後、事業評価を行っていくにあたり、担当部署によるプレゼンテーションと質疑応答を合わせて、1事業あたりの持ち時間はどの程度か。

(事務局) 質疑応答を含めて、1事業あたり20分程度と考えている。

→原案のとおり進める。

(3) 2次評価について【資料5-1】

評価選択事業の候補26事業の選定条件及び、各事業内容について事務局より説明。

26事業の選定条件は以下の通り。

1. 令和7年度に、国や県の補助金、交付金等を受けず実施した事業のうち、1次評価がB以下の事業。

2. 令和7年度の総合計画推進委員会において評価をいただいた事業。

3. 令和8年度に市議会による事業評価の対象となった事業。

4. 令和8年度市民アンケートにおいて、瑞浪市の幸福感を高めるために、特に実施すべきとして回答割合が多かった分野、具体的には「子育て支援」、「健康・医療」、「公共交通」に関連する事業。

上記4つの条件のいずれかに該当する事業に、市の主要事業である瑞浪駅周辺再開発事業と、地方創生伴走支援制度を活用して国の伴走支援官から助言を受けて実施した、インバウンド観光コンテンツ造成事業を加え、各まちづくりの基本方針ごとに5事業程度となるように選定。

(委 員) 「7 ミライ創ろまい課プロジェクト推進事業」の目標指標mGAP（修正地域参画総量指数）とは何かご説明いただきたい。

(事務局) 東海大学の教授が提唱する指標であり、「地域住民が地域にどれだけ関わろうとしているか」を数値化して評価するものである。具体的には、地域住民の地域への参加意欲、地域の推奨意欲、地域への感謝意欲といった複数の心理的要素をアンケートにより測定し、それらを数値化して総合的に評価する指標である。

(委 員) 26事業から9事業程度に絞るにあたり事務局案があれば提示願いたい。

(事務局) 承知した。

まず、「人、未来を育むまちづくり」からは、「1 コミュニティ・スクール推進事業」と「5 産後ケア事業」をご提案させていただく。

「1 コミュニティ・スクール推進事業」は、今年度、市議会による事業評価の対象となった事業であり、議会とは異なる視点や総合計画の推進といった観点から改めて評価いただき、多角的な検証を行いたいと考えている。また、次代を担う子どもたちの育成や、地域と学校が一体となった教育の推進は、市が進める「子育て支援・教育環境の充実」に深く関係することから選定させていただいた。

「5 産後ケア事業」は、市の重点施策である「子育て支援」に直結する事業であり、また市民アンケートにおいても非常に関心が高かった分野である「子育て支援」に関連する事業であることから選定させていただいた。

次に、「魅力溢れるまちづくり」からは、「7 ミライ創ろまい課プロジェクト推進事業」と「9 瑞浪駅周辺再開発事業（駅北地区）」をご提案させていただく。

「7 ミライ創ろまい課プロジェクト推進事業」は、市の重点施策であるシティプロモーションおよび関係人口の拡大を牽引する中核事業であることから、選定させていただいた。

「9 瑞浪駅周辺再開発事業（駅北地区）」は、今後の瑞浪市の都市構造およびまちづくりの方向性を大きく左右する極めて重要かつ大型のハード事業であることや、多額の投資を伴う事業であるからこそ、進捗状況について、委員の皆様には評価していただきたく選定させていただいた。

次に、「生涯活躍のまちづくり」からは、「13 老人憩いの家管理経費（指定管理）」と「15 東濃中部病院事務組合負担事業（病院事業）」をご提案させていただく。

「13 老人憩いの家管理経費（指定管理）」は、超高齢社会が進行する中、高齢者の健康づくりや、社会的孤立の防止等の役割を担う施設の運営管理に関わる事業である。昨今の厳しい財政状況や公共施設の効率的な維持管理の視点、また、利用者の健康・交流・社会参加にどの程度つながっているかという視点から、評価をいただきたく選定させていただいた。

「15 東濃中部病院事務組合負担事業（病院事業）」については、市民アンケートにおいて非常に関心が高かった分野である「健康・医療」に関する広域連携事業であり、地域医療体制の維持は市民生活の重要な基盤であることから、選定させていただいた。

次に「活みなぎるまちづくり」からは、「21 インバウンド観光コンテンツ造成事業」をご提案させていただく。本事業は瑞浪市の課題である観光分野について、国の地方創生伴走支援制度を活用し、国の伴走支援官から助言を受けながら実施した事業であることから選定させていただいた。

これに評価必須事項である、農産物等直売所管理経費（指定管理）を加え、計2事業とした。

最後に、「持続可能なまちづくり」からは、「22 デマンド型交通運行事業」と「26 エネルギー利用最適化事業」をご提案させていただく。

「22 デマンド型交通運行事業」については、高齢化や人口減少が進む中、病院、買い物など、市民の日常生活を支える事業であり、また市民アンケートにおいても、市民の皆様に関心が高かった分野である、「公共交通」に関する事業であることから選定させてい

ただいた。

最後に、「26 エネルギー利用最適化事業」については、国が掲げる脱炭素社会の実現に向け、市としても省エネルギー化や再生可能エネルギーの活用を推進する必要があること、また瑞浪市は令和6年1月に「2050年までに温室効果ガス排出量を実質ゼロとするゼロカーボンシティ」を宣言していることから、評価対象として選定させていただいた。以上となるが、これらはあくまで事務局案であり、委員の皆様のご興味や評価すべきと判断される事業があれば、その事業を評価いただけたらと考えている。

(委員) 「8 地域魅力発信事業」について伺いたい。一次評価では達成度がC評価となっているが、瑞浪市としてはこれまで移住施策に相当力を入れてきたと理解している。今回、この事業が二次評価の提案から外れたのは、移住施策を諦めたという意味ではないとは考えるが、外れた理由を説明いただきたい。

(事務局) どの事業も本来は評価いただきたいところではあるが、全体で10事業程度に整理した際、現在、地域の若者と連携しながらシティプロモーションを推進している「7 ミライ創ろまい課プロジェクト推進事業」と、今後の瑞浪市にとって大きな変化となる「9 瑞浪駅周辺再開発事業（駅北地区）」を選定させていただいた。なお、他に評価すべき事業があると判断される場合には、事務局案に拘束されるものではなく、評価対象を追加・変更していただいて差し支えない。本事業が必ずしも評価対象でなければならないという趣旨ではないため、委員の皆様のご意見を踏まえ、ご判断いただきたい。

(委員) 「10 瑞浪駅周辺再開発事業（駅南地区）」ではなく、「9 瑞浪駅周辺再開発事業（駅北地区）」とした理由を伺いたい。

(事務局) 駅北地区の再開発事業については、昨年度から本格的に複合公共施設の設計が動き始め、来年度、再来年度にかけて大きく進捗する見込みである。このため、継続的に審議いただくことが重要であると判断し、駅北地区を優先して選定したものである。一方、駅南地区についても今後事業を進めていくわけであるが、事務局案から外れたものの、事業の進捗状況により、来年度以降の委員会では評価対象としてあげさせていただけたらと考えている。

(委員) 「5 産後ケア事業」の目標指標について、「利用希望者の利用率」となっており、達成率が100%となっている。利用希望者の利用率であれば100%になるのが当然のような気がするが、この目標指標を設定している理由を伺いたい。

(事務局) 事業開始前の段階で設定した初期目標がそのまま用いられている状況である。事業開始後、希望者全員が利用できたため、結果として100%という評価になったが、100%であるがゆえに、事業の課題や改善点が見えにくいという面がある。

そのため、今回の二次評価の対象として取り上げることで、事業の進捗や実施状況を踏まえ、より適切で細分化された目標指標設定が可能になると考えている。

(委員) 瑞浪市が抱える最大の課題の一つは人口減少であり、この論点は避けて通れないと考えている。市の魅力向上やまちづくりに関する各施策は、最終的には人口増加という目標に結びつくものである。先ほど説明のあった「8 地域魅力発信事業」では、移住者数が目標指標として設定されているが、人口増加に向けた具体的な取り組みについて、評価できたらと考えている。どの事業が人口増加に直結するのか現時点では判断が難しいものの、全ての事業が最終的には人口増加に寄与するものと認識している。

- そのうえで、人口増加を直接的に狙った事業があるのであれば、教示いただきたい。
- (事務局) 直接的にということであれば、目標指標にもあるように「8 地域魅力発信事業」が該当すると思う。おっしゃられたように、どの事業も基本的には瑞浪市の課題の解消に寄与するものであるという認識である。
- (委員) 「15 東濃中部病院事務組合負担事業（病院事業）」について、選定されたこと自体は妥当であると思う。事業費が高額であり、市長も力を入れてこられた事業でもあるため、評価対象として取り上げることは理解できる。
- 一方で、本事業をどのような観点・基準で評価すべきかについては、多様な考え方があり、判断が難しい。どう評価することが適切なのか不安があるため、その点についてご教示いただきたい。
- (事務局) 本事業は土岐市と瑞浪市で構成する病院事務組合において算定された負担金を市が支出する事業である。当該病院は令和8年2月に開院したばかりであり、医療の専門的観点からの評価は専門家による判断が中心となる。しかし、市民の視点から見た病院運営、瑞浪市および土岐市がどのように病院の利用促進に向けて取り組んできたか、また市としてどのような説明や周知を行ってきたかといった点については、委員の皆様には評価いただきたいと考えている。ご指摘のとおり、本事業を評価することは難しい側面があることは事務局としても認識している。しかし、本事業は瑞浪市の事業の中でも事業費が大きく、市財政に与える影響も大きいことから、評価対象から外すことも適切ではないと判断し、今回の事務局案に含めた次第である。
- なお、先ほども申し上げたとおり、他に評価すべき事業があると判断される場合には、事務局案に拘束されるものではなく、評価対象を追加・変更していただいて差し支えない。本事業が必ずしも評価対象でなければならないという趣旨ではないため、委員の皆様のご意見を踏まえ、ご判断いただきたい。
- (委員) 本事業は目標指標がない事業であり、先ほど言われたように、どう評価するかという点については難しい面もあるが、大きな事業であり、市長も力を入れて進めてこられた事業であることから、今後も市が事業を進めていくうえで、一定の緊張感を持つという意味でも、外部評価の対象として取り上げることに意義があると思う。
- (委員) 選定案の中には一次評価がAのものも多く含まれているため、達成度が低い事業についても、もう少し評価してはどうかと思う。私としてはすべての事業に興味がある。
- (委員) 子どもの個性を大切に、それを伸ばしていく教育を行ううえで、スクールサポートの方が多く配置されることは重要であると思う。できれば「4 スクールサポートスタッフ配置事業」を評価対象に加えていただきたい。また、瑞浪市の特徴として私が捉えている点が違っているのかもしれないが、あまりインバウンドや観光というよりは、ここに暮らしている方の創業支援や中小企業の販路開拓といったことの方が、瑞浪市の活性化という点では重要なのではないと思う。したがって、そういった事業の評価を行った方がよいのではないかと考える。
- (委員) 一次評価ではAとなっている事業であっても、委員の皆さんはどのように評価されるかという視点であったり、逆に一次評価ではCやDとなっている事業でも、委員会では評価が上がる可能性もある。さまざまな視点での意見を聞きたいという思いがあって事務局案を提案いただいたと推察する。私としては、どの事業を評価することになっても問題はない。

(委員) 市の担当者の皆さんからすると、市民の意見をぜひ聞きたいという事業を選んでいただいたものだとは推察する。それは尊重させていただきたいし、加えて委員からの意見として出たものについても、ぜひ前向きにご検討いただきたい。

(委員) 委員の皆様から出た意見を踏まえると、「4 スクールサポートスタッフ配置事業」、「8 地域魅力発信事業」、「18 中小企業販路開拓支援事業」の3事業を評価対象として追加したほうがよいとのことであった。当初の事務局案に加え、3事業追加となると、想定よりも件数が多くなり、会議の日程等も踏まえると、時間の面で懸念があるがどうか。

(事務局) 「4 スクールサポートスタッフ配置事業」を新たに評価対象として追加するご提案をいただいたことを踏まえ、事務局案の「1 コミュニティ・スクール推進事業」を取り下げ、計12事業を第2回第3回で評価いただくという形ではどうか。担当課は同一であるため、「1 コミュニティ・スクール推進事業」についても、もし気になる点があれば、その際にご質問いただくことも可能である。

(委員各位) 了承。

→令和8年度は、評価必須事業（1事業）＋評価選択事業のうち「4 スクールサポートスタッフ配置事業」、「5 産後ケア事業」、「7 ミライ創ろまい課プロジェクト推進事業」、「8 地域魅力発信事業」、「9 瑞浪駅周辺再開発事業（駅北地区）」、「13 老人憩いの家管理経費（指定管理）」、「15 東濃中部病院事務組合負担事業（病院事業）」、「18 中小企業販路開拓支援事業」、「21 インバウンド観光コンテンツ造成事業」、「22 デマンド型交通運行事業」、「26 エネルギー利用最適化事業」の計12事業を評価することで決定。

(3) 2次評価について【資料5－2】

(委員) 第2回第3回の委員会で、各事業担当課からの説明を受けて、その場で評価を行うという理解でよろしいか。

(事務局) 各回で担当課から事業説明を行うが、評価についてはその場で即時に記入いただくのではなく、一度お持ち帰りいただき、後日、紙媒体またはデータにてご提出いただけたらと考えている。

(4) 行政改革の取組について【資料6－1】【資料6－2】

(委員) こちらは本日ではなく、今後ということではよろしいか。

(事務局) 第2回以降でご意見を伺いたい。その意見を担当課にフィードバックすることで次年度以降の取組に反映していきたいと考えている。

→第2回以降に改めて意見を伺う時間を設ける。

5. その他

・報酬の支払いについて

市の条例に基づき、12月末までにまとめて支払いをする予定。

・第2回以降の瑞浪市総合計画推進委員会の日程について

第2回 9月14日（月）10時00分より

第3回 9月24日（木）13時30分より

第4回 10月22日(木) 10時00分より

第5回 11月 5日(木) 13時30分より

※会場はいずれの回も瑞浪市保健センター3階大会議室

以上